

大学入学共通テスト結果と今後の学習

1 共通テスト自己採点結果

2回目の試験は難易度が上がるとの想定通り、平均点は大きく下がりました。難しいと思っているのはあなただけではありませんよ。したがって、昨年度までの得点を追いかけて、これから出てくる情報を元に客観的に冷静に自分の立ち位置を確認してください。難関大では、やはり二次学力が可否を分ける要因となります。最後まで自分の志望を貫いてください（I）。

2日間の共通テストお疲れさまでした。個別試験までは「時間との勝負」であり、ここからが正念場になります。結果に一喜一憂せず、志望校合格に向けて1日でも早く、1時間でも早く気持ちを切り替えて準備を進めてください。

個別試験に向けて、明日からの特別時間割が切り替えのチャンスです。食事や睡眠を大切にしながら、74回生の仲間とともに、受験シーズンを乗り越えよう（H）。

2 今後の学習について

① 素早く気持ちを切り換える。

- ・二次試験まで時間がない。すぐに第1志望校の二次試験対策に入る。決断が早いほど十分な対策ができ合格に近づける。受験校決定に不安があれば、担任、教科の先生にも相談する。
- ・二次対策の問題集を確認し、学習計画を立てる。教科の先生にも相談する。
- ・不安があれば、信頼している人に話すことを勧める。

② 今まで通りのリズムで過ごす。

- ・生活リズム、学習リズムを崩さない。登校するよりも自宅で学習した方が効率的だといって安易に遅刻・欠席する者は、概して失敗する。
- ・何事にも動じず落ち着いて「泰然自若」の態度で学習する。

③ 今までのストーリーにない大学に出願しない。

- ・共通テストの結果によって、今まで口にしたこともない大学をいきなり口にする事があるが、良くない結果になることが多い。
- ・即断即決は重要であるが、全国情勢が判明する前に自分勝手に志望校を変更しない。
今までの担任の先生との面談、家族との話し合いの中で志望校は決めてきたはずである。決断するときは必ず信頼している人に相談する。

④ 粘り強く、最後まで学習を続ける覚悟を決める。

- ・共通テストで失敗して、「浪人だ」と決めつけてあきらめる生徒は、二浪する可能性が高い。
- ・決してあきらめない！ 国公立大前期試験まで5週間、特別時間割は4週間もある！
二次学力が弱い生徒でも、試験当日まで粘ると二次学力がつく。
- ・気合いを入れ直して勉強しないと、濃厚ライン以上でも落ちることが多い。

⑤ 願書は細心の注意をもって記入し、自分で出願する。

- ・出願書類作成能力も入試の一部である。自分が受験する大学の手続きは自力で行う！ 試験に集中して臨むためにも、出願手続き時に不安を残さない。わからないことは聞いたり、調べたりする。

⑥ 私大入試の勉強をやりすぎない。（大本命の国公立大合格を優先する！）

- ・学習内容の優先順位を間違えない。大本命国公立大以外に体力・時間を使いすぎれば、消耗するだけである。

⑦ 出願する大学は、必ず受験することを前提とする。

- ・出願した以上は絶対に受験する。受験勉強から早く解放されたいからといって妥協しない。最後までやり切ることが、この先の人生の自信となる。

3 進路指導室内の資料について

- ・入退室時には挨拶をし、用件をはっきり述べる。先生が不在の時は入室禁止。
- ・進路指導室内の資料は持ち出し厳禁である。進路指導室内での閲覧、コピーに限る